

### 水質・大気の保全

水質・大気保全については法規制基準値よりもさらに厳しい自主基準値を定めて、定期的な測定や設備の維持管理をおこなっており汚染防止をはかっています。

#### 水質保全

ゴム電線製造事業所では、ゴム加硫のプロセスに鉛被加硫法を行っており、排水に鉛が含まれています。これまでも自主基準値以内に抑えるよう厳しく管理してきましたが、さらに排出を抑制するために排水中の鉛分を除去する装置の設置を推進してきました。現在排水中鉛成分は従来の約1/4以下に抑制されています。また各種の冷却水は公共用水域へ放流していますが、水路の途中に何段階もの水質監視システムを設置し厳しく監視をおこなっています。これらの改善を通じて水質の保全をはかっています。

#### 大気保全

大気中に排出された化学物質は、大気汚染のみならず土壌汚染を引き起こす原因となることが広く認識されています。当社製品の一つであるエナメル線は、製造工程でエナメルを炉で焼き付け塗装していますが、炉内より溶剤ガスが発生します。このガスの大気排出を低減するために触媒を用いてガスを水と炭酸ガスに分解しています。また、ガスの分解時に熱が発生しますので熱回収を行ない省エネルギーもはかっています。

また、有害大気汚染物質のうち、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・ジクロロメタンは1997年までに全廃完了しています。

### 化学物質管理

化学物質管理当社は1996年度より経団連PRTR調査に参加、対象物質について排出量・移動量調査を行ない自主管理を始めました。その後対象物質の範囲をPRTR対象物質、内分泌攪乱物質(環境ホルモン)及びその他の環境への影響が懸念されている物質に広げ、これらの物質を「回避対象物質」「管理物質」に分けて継続管理を実施していくとともに、削減化・代替化を推進しています。1999年度に当社で使用した「回避対象物質」「管理物質」は28種類ありました。その中から鉛等の重金属類と溶剤を取り上げ具体的な目標をたてて削減に取り組んでいます。

削減項目	目標値	目標年
はんだめっき線 鉛使用量	100%削減	2002年
エナメル線用溶剤 使用量	20%削減	2004年